

一般社団法人ビリーバーズ 第9回理事会議事録

1. 開催日時 令和6年12月16日(月) 午後3時05分～午後3時30分
2. 開催場所 当法人事務所
3. 出席状況 理事総数3人 監事1人 有効出席者数3人
4. 議長選任の経過 上記のとおり定足数に足る出席があったので、定款の規定により代表理事の熊野英一が議長になり、直ちに議案の審議に入った。
5. 議事
- 第1号議案 前回理事会で確認した策定中の各種規程の進捗確認について
役員報酬規程を社員総会で議決すること以外、特に進捗はないということが報告された。

第2号議案 3期の決算書、事業報告書の報告及び来期の予算、事業計画について
事業報告に関しては、ビリーバーズ広尾は、利用児童の出入りが多いため、人数の増加が少ない。2024年1月からスタートしたビリーバーズ板橋は、順調に利用児童数が伸びている。平日日中の不登校支援以外の活動としては、居場所づくりの人のための対話会キックオフミーティングや助成金獲得講座を行っており、キックオフミーティングは今後収益を上げるよう工夫していく予定である。助成金獲得講座は利益が上がっているとそれぞれ説明があった。決算は前年度の寄付1000万円を取り崩している状況にある。10月1日から東京都の補助金がスタートしたため、ビリーバーズ広尾の人件費の3/4が補填されることになった。4期の予算については、売上1,590万円の予測値となっている。ビリーバーズ広尾の人件費の補填されることになったのと、ビリーバーズ板橋が週5開室を目指し、場所も借りる予定としている。東京都の補助金は今のところ1団体1拠点だが、今後複数拠点がもらえるようになるのではと予想している。潤沢な資金はないが、しっかり実績を重ねていくこととしている。監事の小倉よりキャッシュフローについて質問があり、熊野から説明があった。第4期の事業計画についても熊野から説明があり、問題ないことを確認した。

第3号議案 ビリーバーズ広尾、ビリーバーズ板橋のチケットの価格改定について
予算上にはまだ反映していないが、2025年4月から利用チケットの改定を検討していることを熊野から説明があった。人件費が高騰していること、東京都から利用者向けの補助金が出ていることから、妥当と考えているとの補足があった。

第4号議案 利用者に向けての寄付のお願いについて
赤字補填のために、来年3月をめどに保護者からの寄付をお願いすることとしていることの説明があった。

第5号議案 その他、理事、監事に取り扱いたい議題について
ビリーバーズ広尾で作成している業務マニュアルに掲載する一般社団法人ビリーバーズの経営理念を改めて作成する必要があることが熊野から報告され、次の3月の理事会までに一般社団法人ビリーバーズの経営理念や組織体制を明確化し、反映させる予定であることを確認した。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を終了した旨を述べ、午後3時30分閉会した。
以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事、出席監事が記名押印する。

令和6年12月16日

一般社団法人ビリーバーズ

議長	熊野 英一	
出席理事	歳本 美紀	
出席理事	高橋 真理子	
出席監事	小倉 啓吾	